

令和5年度全国学力・学習状況調査指導方法等の改善計画
 呉市立昭和北中学校（昭和北中学校区）

全国学力・学習状況調査の進捗状況確認シート

教科	改善の方策	取組状況（11月）	進捗	取組状況（2月）	進捗
国語	<p>◎自分の考えに説得力をもたせるためには、根拠の明確さが大切になることに留意させ、具体的に説明したり、文章の構成や表現の仕方などを工夫したりして書く学習活動を設定する。</p> <p>◇</p>	<p>・条件作文の課題を定期的に出題している。根拠を明確にしたり、具体をもたせて書いたりするなどの指導をしている。また、11月末の定期テストでも条件作文の問題を出題した。</p>	B	<p>・1月に実施する学年末試験に向けて、課題作文の演習を複数回行った。学年末試験には、論語の一説の考え方について、身近な具体例（体験）を含め、自分の考えを書くことを条件とし、作文させる問題を出題した。定期的に課題作文に触れてきたことで、苦手意識も減り、多くの生徒が作文することができていた。</p>	B
数学	<p>◎基礎的・基本的な知識・技能を身に付けるために、授業内で、生徒が新しいものを見つけたり、考えたりすることができる場面を多く設定する。</p> <p>◎途中式等を書く問題を作成し、部分点をつけるようにし、少しでも記入する意識付けを行う。</p> <p>◇授業で課題解決に向けて、根拠となることながらを提示し、考察する場面や交流する活動を意図的に設定する。</p>	<p>・定期、単元テスト等で、途中式や考えを書く問題を設定し、部分点をつけて、意識付けを行った。パターンが同じ証明を授業内でいくつか行い、一人一人採点し、最低1つはやらせ切り少しでも「できた。」と思えるような授業を行った。</p> <p>また、11月末の定期テストでも証明問題を出題した。</p>	B	<p>・授業内で、身近にあるものを題材として課題解決を行った。数学を身近に感じ、意欲的に取り組む生徒が多かった。授業内で、同じような問題を何度も繰り返すことで、1月の学年末テストで、基本的な証明問題を出題した際は、普段よりも空白の生徒が少なかった。</p>	B
英語	<p>◎授業の中で様々な場面における会話の場面（聞いたり話したり）を設定し、定期テストにおいて、同じような問題を出題し、検証をする。</p>	<p>・先生とのやり取りを通して、会話の場面を設定している。定期テストが11月末にあるので、会話の場面の問題を出題する予定である。</p>	B	<p>・様々なトピックに対して、どのように会話を展開していけば良いかをイメージマップを通して考えることができた。定期テストでは、会話の場面の問題を出題し、正答率は63%であった。</p>	B

進捗状況 A：とても順調 B：順調 C：改善が必要